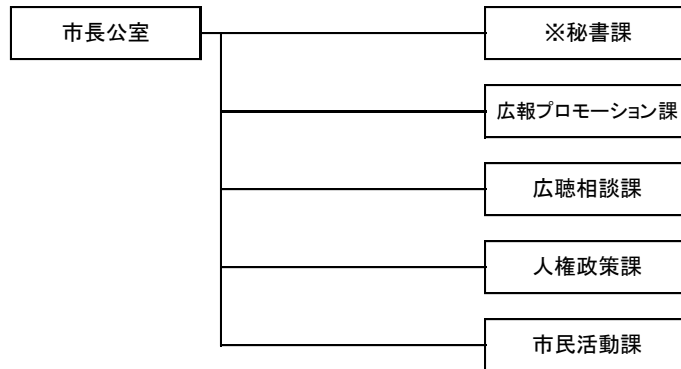


市長公室

市長公室 所管事務の概要



秘書課

- (1) 市長及び副市長の秘書に関すること。
- (2) 市長及び副市長の指示事項の連絡調整に関すること。
- (3) 市長会等に関すること。ただし、他の課の所管するものを除く。

広報プロモーション課

- (1) 広報活動に関すること。
- (2) 報道機関との連絡に関すること。
- (3) シティプロモーションの推進に係る企画、立案及び調整に関すること。
- (4) ふるさと納税に関すること。

広聴相談課

- (1) 行政相談、法律相談その他の市民相談に関すること。ただし、他の課の所管するものを除く。
- (2) 広聴活動に関すること。
- (3) 行政相談委員に関すること。

人権政策課

- (1) 人権・同和施策に係る総合調整に関すること。
- (2) 非核平和事業に関すること。
- (3) いじめ防止対策の推進に関すること。
- (4) いじめを受けた児童等の相談、支援等に関すること。
- (5) 人権擁護委員に関すること。
- (6) 男女共同参画施策の企画及び調整に関すること。
- (7) 人権尊重のまちづくり審議会、男女共同参画推進審議会及びいじめ問題再調査委員会に関すること。

市民活動課

- (1) 住民自治の振興に関すること。
- (2) 市民間の共助意識の啓発に関すること。
- (3) 市民活動の支援及び地域住民団体の活動の支援の総括に関すること。
- (4) 市民憲章に関すること。
- (5) 特定非営利活動法人の設立の認証等に関すること。
- (6) サプリ村野NPOセンターに関すること。
- (7) 市民参加及び市民との協働の推進に係る調査研究、企画、立案及び調整に関すること。
- (8) NPO活動応援基金支援審査会に関すること。

令和5年度主要施策の成果と課題

【広報プロモーション課】

1. 全庁的な情報発信力強化・効果的な広報の実践について

職員一人一人の情報発信力の強化を目的とし、昨年度策定した市の情報発信の基本的な考え方となる情報発信ガイドライン「マインド編」に引き続き、効果的な発信の具体例を掲載した「スキル編」を作成した。本ガイドラインを活用し全庁的な情報発信に係る意識の醸成を図るため、職員向けに情報発信研修を行った。また、「子育て・教育」に係る市の特徴的な取り組みやまちの魅力について組織横断的な体制のもと強力にPRするため、「だから、枚方」をキャッチコピーに、広報紙や市ホームページ、SNS、市が所管しているデジタルサイネージなど多様な媒体を活用して発信するとともに、京阪電鉄京橋駅構内のデジタルサイネージやInstagram広告など新たな手段を用いたPR施策を積極的に実践した。

また、令和5年5月より市役所本庁舎前や各支所など、市内全10か所に設置したデジタルサイネージの運用を開始し、市民へのニーズが高い市政情報やイベント情報などのまちの魅力発信につながる情報を動画や静止画で積極的に発信した。

2. シティプロモーションの推進について

市テーマソング「この街が好き」を通した取り組みとして、令和6年1月27日に市テーマソングをはじめとした「枚方を感じる曲」をエピソードとともに披露する市民参加型のカラオケ大会を実施した。イベントには延べ113組の応募があり、当日は24組が登場、観覧は約800人の応募があり、抽選で約300人が来場した。当日の審査員には市PR大使を招き、ライブパフォーマンスも披露した。イベントを通して市民にはまちへの愛着を深め、市外の人には枚方市への興味・関心を高める取り組みを進めた。

市のキャラクター“ひこぼしくん”を活用したアピールとして、応募のあった市民の特別な日や記念すべき日に「ひこぼしくん」が駆けつけて共に素敵な記念日をつくり上げる企画を実施し、市民のまちへの愛着の醸成や行政と市民との繋がりを創出した。

また、市PR大使については、幅広い年齢層へのアプローチのため、YouTuberやオペラ歌手、俳優など多様な分野で活躍されている市ゆかりの著名人を新たに6組迎え、広報紙企画や市PR冊子で取り扱うなど市の魅力を発信した。

3. 広報紙面の充実について

令和5年5月8日から新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが5類感染症に移行されたことを契機に、これまで優先して取り扱ってきた同感染症やワクチン接種に関する情報掲載を徐々に縮小させる一方で、市として強力に情報発信を展開する「子育て・教育」に関する紙面企画「だから、枚方」の掲載を開始したほか、認知症介護や自転車の交通ルール、フードドライブ、能登半島地震に係る支援状況など、市民にとって関心の高いテーマを特集で紹介した。また、夏休み期間の発行となる8月号では、昆虫など市内で見られる生き物にスポットを当てるなど季節感も意識した魅力ある紙面づくりに取り組んだ。さらに、広報紙の情報を多くの人に広く伝えるため、10か国語に翻訳でき読み上げにも対応する多言語アプリも継続して配信した。

4. ふるさと寄附金の推進について

財源確保策として実施しているふるさと寄附金では、専用ポータルサイト「ふるさとチョイス」や「さとふる」、「楽天ふるさと納税」に加え、寄附窓口の拡大のため新たに「ふるなび」を導入するとともに、寄附金の募集や返礼品の提供に関して「ふるさと納税に係る指定制度」に基づく適切な運用を行った。

令和5年度においては、市内返礼品取扱事業者の新規登録を16社増やし、製造や刻印まで全て枚方で作り、メディアでも多数取り上げられた「うまい棒ケース」を始め、グラノーラやおにぎり型のリュックなど多彩な品目を追加した。引き続き、人気化粧品「ナノエマルジョン」や腸内フローラ検査キット「Flora Scan（フローラスキャン）」が寄与し、寄附金額は令和4年度と比較して約7,119万円増加した。さらに、返礼品などの魅力を幅広くPRするため、ウェブ広告（動画）を配信した。

5. 企業版ふるさと寄附金の推進について

「枚方市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づく取り組みを推進するための財源確保策として令和4年度から「枚方市まち・ひと・しごと創生基金」を設置し、企業版ふるさと寄附金の獲得に向けた取り組みを進めている。

寄附募集については、企業に効果的な働きかけを行うため、重点的に寄附を募る事業を抽出し、冊子や動画を活用した効果的なPRや、企業訪問によるPRを通した寄附獲得に努めた。また、より効率的な企業版ふるさと寄附金の獲得に向け、PR支援業務等を専門的に行う事業者に対して業務委託を行い、更なる寄附獲得の推進を図った。また、寄附対象事業に関するプロモーションの強化など、より効果的・効率的な運用を目的に、政策推進課から広報プロモーション課へ事務を移管した。

【広聴相談課】

1. 市民相談について

相談担当職員による「生活相談」では、相続に関する相談が1,298件、以下離婚451件、不動産446件、家庭問題441件、近隣問題409件、金銭貸借(個人)397件で、この6つの相談で全体の56.0%を占めている。

専門相談員による「専門相談」のうち、法律相談が1,225件で76.2%を占めている。法律相談以外の相談が383件で、登記相談162件、交通事故相談90件、成年後見相談59件、遺言書・内容証明作成相談35件であった。

新型コロナウイルス感染症対策として、令和3年度からオンライン相談を生活相談および交通事故相談を対象に開始し、弁護士と認定司法書士による法律相談も令和4年7月からオンライン相談を開始した。令和5年度の総件数は、令和4年度と比較すると368件増の7,755件であった。

2. 市民の声事業について

市民からの意見や要望等を受け付ける「市長への提言」については、関係部署や関係機関に速やかに連絡し、回答等の調整を行っている。

「市長への提言」として対応した件数は96件で、提言の趣旨とそれに対する市の考え方を要約し、個人が特定できないよう処理を行ったうえで、市ホームページ等で公表を行った。また人事課と連携し、職員研修の具体事例として情報提供を行い、提言回答の質の向上を図った。

スマートフォンで地域の危険箇所等を現場写真や位置情報付きで市に通報する「災害等通報システム」については、202件の通報を受けて、対応状況をホームページで公開している。

3. 各種アンケート及びパブリックコメント制度について

市ホームページを活用した市民意見の聴取手法として、インターネットアンケートを13回実施し、延べ2,566件の意見を聴取したほか、市政モニターによるアンケートを実施し、平均80.1%の回答を得た。また、1回の回答ごとにひらかたポイントが10ポイントもらえるスマホアンケートを月1回実施した。スマホアンケートは、令和5年度も引き続き市公式LINEアカウントによる配信を行い、26,181件の回答を得た。

また、市の政策形成過程における透明性及び公正性の向上を図ることを目的とした、パブリックコメント制度による意見募集を11回実施し、延べ1,114件の意見を聴取した。

4. コールセンターの運用について

市民からのお問い合わせに際し、よくある質問にはオペレータが回答し、意見・要望を集約する「総合コールセンター」の管理・運用について、応答率95%以上、ワンストップ回答率30%以上という数値目標を設定しており、応答率は年間平均で96.0%、ワンストップ回答率は41.0%とそれぞれ目標を達成した。5～6月の繁忙期ではワンストップ回答率45%以上を記録し、担当部署の負担低減に貢献した。また、公民連携を活用し、チャットGPTを用いたFAQの自動生成、書式の統一等の実証実験を行い、373件を生成。令和5年度中に2,500件の整備目標を達成した。

【人権政策課】

1. 人権啓発事業について

人権啓発事業については、平成18年度から特定非営利活動法人枚方人権まちづくり協会へ委託を行い、講座等の開催を通じて、人権について考える機会を市民に提供している。

講座「生きること」では、様々な分野で活躍する方を講師に招いて連続講座(3回)を開催した。講座終了後には、講座内容を記録した冊子を作成し、講座内容を幅広く周知することにより、市民の人権意識の高揚を図っているほか、人権文化セミナー(講演会)、北朝鮮人権侵害問題啓発週間事業(パネル展)などを実施した。

なお、啓発事業を実施する際は、合理的配慮や参加しやすい環境を整える観点から、申込状況に応じて要約筆記・手話・保育・補聴システム・点訳資料・字幕を用意している。

2. 人権尊重のまちづくりに向けた取り組みについて

人権問題が多様化・複雑化していることや、市民意識調査の結果等を踏まえ、「あらゆる人権侵害を許さない」という市の姿勢を示すとともに、より一層の人権意識の醸成を図るため令和6年3月に「枚方市人権尊重のまちづくり条例」を一部改正し、市の責務に加え、市民の役割や事業者の責務を追加するとともに、人権侵害行為の禁止等を規定した。今後は、市民・事業者等へ、条例の理念など人権意識の醸成に向けて周知啓発を行っていく。

3. 非核平和事業について

憲法のつどい、枚方市平和の日記念事業(平和フォーラム、平和の燈火等)、平和資料室特別展及び市内の戦争遺跡バスツアーなどの事業を実施し、戦争の悲惨さや平和の尊さを次世代の子どもたちに伝えとともに、市民に平和等について考える機会を提供した。事業実施の際に、会場に「折り鶴コーナー」を設け、来場者に平和の願いを込めて折ってもらった。

ロシアによるウクライナ軍事侵攻により、枚方市に避難する人の相談窓口を設置し、避難支援を行った。

また、戦争の悲惨さや平和の尊さを次代に伝え、平和のために自分たちに何ができるかを考えてもらうきっかけを作るため作成した平和啓発冊子「平和のために私たちができること」を各学校に配布するなど啓発を実施した。

4. 平和資料室について

次世代に広く平和の大切さを伝えるため、平成 18 年度から、中央図書館 1 階の平和資料室において、禁野火薬庫の爆発に関する写真パネル、及び市民などから寄贈を受けた戦争資料等の常設展示を行っている。平和資料室では夏季平和事業として、毎回テーマを設定してパネルやポスター等を掲示する特別展（2 週間程度）に取り組んでおり、令和 5 年度は、ロシアによるウクライナへの軍事侵攻が続く中、平和について考えてもらうため、ウクライナ人の絵本作家が絵と文章で綴り書籍化された「戦争日記 鉛筆 1 本で描いたウクライナのある家族の日々」のパネル展を開催した。

5. 特定非営利活動法人枚方人権まちづくり協会について

特定非営利活動法人枚方人権まちづくり協会は、今日的な人権課題に適切に対応できる体制と「人権啓発」、「人権相談」、「自立支援」に関する施策を進めるため、行政、企業、団体、市民の参画により設立された。平成 18 年 3 月に特定非営利活動法人格を取得し、同年 4 月から本格稼働した。

本市の人権ケースワーク事業、男女共生フロア相談事業、地域就労支援事業、進路選択支援事業、人権啓発事業を委託するなど、連携、協力し、人権施策の推進を図った。

6. 男女共同参画推進事業について

すべての市民が互いに人権を尊重し、責任を分かち合い、性別にかかわらず、個性と能力を発揮することができる男女共同参画社会の実現をめざし、「第 3 次枚方市男女共同参画計画」（計画期間：平成 28 年度～令和 7 年度）に基づき、男女共同参画啓発事業及び DV 防止啓発事業を実施した。

身体的性差への理解促進を図るとともに、その性差を踏まえ、女性の負担軽減につながる取り組みとして、市の施設のトイレに生理用品を無償で配置した。配置にあたっては、令和 4 年度の実証実験による効果的な配置方法とした。

男女共同参画週間事業について、動画配信及び上映会を実施し、多くの方への啓発を図った。男女共生フロア・ウィル登録団体同士の交流会や登録団体と共催で講座を開催した。

相談事業については、引き続き、女性のための相談（電話・面接・法律）、男性のための電話相談を実施し、主に性別を理由とした悩みや困りごとの相談に対応した。

7. 性的マイノリティ支援事業について

平成 31 年 3 月に LGBT（レズビアン：女性の同性愛者、ゲイ：男性の同性愛者、バイセクシュアル：両性愛者、トランスジェンダー：体の性と心の性の不一致の人の頭文字を取った、性のあり方の少数者の総称）等の性的マイノリティの方を積極的に支援することを市が表明した「ひらかた・にじいろ宣言」を行い、平成 31 年 4 月 1 日からはパートナーシップ宣誓制度と LGBT 電話相談窓口の運用を開始するとともに、同年 7 月より当事者や支援者が集い交流や情報交換を行う場としてコミュニティスペースを開設している。また、毎年度、新任課長及び新入職員を対象に LGBT 等の性的マイノリティの方に対する理解促進と職場内や市民に対しての適切な対応を学ぶために研修を実施するとともに、職員には ALLY（アライ=性的マイノリティの支援者）である事を表明できるシールを配布し、名札や窓口等への貼付を促している。

令和 4 年 9 月に大阪府内でパートナーシップ宣誓制度を実施している自治体と協定を締結し、転入出を伴う転居時における手続きについて、当事者の負担軽減を図ってきた。令和 6 年 4 月より京都府と兵庫県の自治体間の転入出についても負担を軽減できるよう広域自治体間連携について自治体間での調整を行った。

8. ドメスティック・バイオレンス（DV：配偶者等からの暴力）の防止啓発及び被害者支援の充実について

子どもたちを暴力の被害者にも加害者にもさせないために、若年層への防止啓発として教育委員会と連携し、市内小学校 8 校の 4 年生を対象にした「DV 予防教育プログラム」、中学校 14 校において「デート DV 予防教育プログラム」を実施した。また、若年層を対象にしたデート DV 防止ハンドブックを希望する市内中学校に、チャットでも相談できる DV 相談プラスのコードを記載したデート DV 啓発カードを希望する市内高等学校に対し配布した。

DV 被害者への適切な支援を行うため、大阪府女性相談センター、警察署、消防組合、本市の関係部課等を構成員とする枚方市ドメスティック・バイオレンス関係機関連絡会議において情報共有を行うとともに、「DV 支援における各機関との連携・協働について」をテーマとした支援者研修を実施した。

潜在的な DV 被害者の救済にもつながるよう、広報ひらかたや SNS、市政情報モニターにより、ひらかた DV 相談室を始めとする相談窓口を周知した。また、離婚を視野に入れたこれからの生活に必要な知識をテーマとした連続講座や、夫婦関係が支配関係にならないための啓発講座を実施するとともに、女性に対する暴力をなくす運動期間（令和 5 年 11 月 12 日～25 日）には、平和の鐘カリヨン（ヒラリヨン）のパープルライトアップ、啓発グッズを配布し啓発を行った。

9. いじめ対策事業について

市では、いじめを市全体の問題としてとらえ、市長部局においても、いじめ防止対策に取り組むこととし、令和 5 年 7 月からいじめ相談窓口を人権政策課に開設し、電話、メール、面談、手紙等で相談を受けた。また、教育委員会との連携等を行う会議を月 1 回以上開催するなど、いじめ対策の総合的な推進を図った。

【市民活動課】

1. コミュニティ活動の支援について

安全・安心で魅力あるまちづくりを推進し地域住民の連携を促進するため、45 校区コミュニティ協議会に対し校区コミュニティ活動補助金を交付するとともに、地域が主体的かつ継続的に取り組む活動に対して支援する「地域づくりデザイン事業」について、1 団体に補助金を交付した。

2. 自治会館建設等助成事業について

自治会活動の拠点である自治会館の建設や改修等に対する助成について、改修 6 件、耐震改修 3 件、土地賃借 1 件を対象とした。

3. 市民活動の支援について

さまざまな分野における市民活動の拠点として、平成 13 年、サブリ村野内にひらかた NPO センターを開設した。その後、平成 25 年 4 月に、一時利用室、長期利用室、貸しロッカー等を備えた、サブリ村野 NPO センターとしてリニューアルオープンし、NPO や市民団体等の利用に供している。

また、市内でのボランティア活動を通じて、社会に貢献している個人及び団体を対象に、日々の活動の労をねぎらい、今後の活躍に期待するとともに、広く社会一般にボランティア精神の浸透を図ることを目的とするボランティア表彰について 7 団体、57 人を表彰した。

4. NPO 活動支援事業について

特定非営利活動を活性化し、その健全な発展を支援するため枚方市 NPO 活動応援基金を平成 20 年 3 月に創設した。この基金は、社会貢献を考える市民や法人等からの寄附金を積み立て、公共サービスの新たな担い手である NPO 法人（特定非営利活動法人）へ補助するもので、令和 5 年度は 5 団体に補助金を交付した。

5. 特定非営利活動法人の設立の認証等について

特定非営利活動法人の設立認証等の事務が、平成 25 年 1 月より大阪府から権限移譲され、法人の設立認証等に関する相談業務と設立認証、設立後の法人に対する事業報告書受理等の事務を開始した。令和 5 年度は、法人の設立認証 2 件、定款変更認証 6 件、事業報告書等の受理 98 件、解散届出受理 2 件などの処理を行った。

6. 市民憲章の普及啓発について

市民自らの創意による都市建設の理念と等しく守るべき市民道徳、生活規範を確立すべきだと志を同じくする市民の手により昭和 46 年に制定された枚方市民憲章について、市ホームページにその内容を掲載するとともに、市民活動課窓口で啓発用ポケットティッシュを配布する等の普及啓発を図った。

7. 協働によるまちづくりの推進について

協働のまちづくりを推進する取り組みとして、ひらかた市民活動支援センターと連携し、行政と NPO との意見交換会を 2 回開催したほか、協働の意識を醸成するための職員研修を実施した。

令和 5 年度事務概要

【秘書課】

(1) 各種負担金執行状況

(単位：円)

名称	負担金執行額	備考（出席状況等）
全国市長会	1,286,000	総会 1 回、理事・評議員合同会議 4 回、社会文教委員会 4 回、市長フォーラム 1 回
近畿市長会	295,000	総会 1 回
大阪府市長会	529,000	定例会 4 回、定例会（町村長会合同会議）1 回
木曜会	24,000	8 回
その他会議	15,000	教育再生首長会議参加費、北方領土返還運動推進大阪府民会議令和 5 年度会費
計	2,149,000	

(2) 交際費執行状況

(単位：件、円)

月	件数	執行額	月	件数	執行額
4 月	－	－	10 月	3	18,700
5 月	5	28,189	11 月	9	61,518
6 月	7	75,000	12 月	7	103,000
7 月	4	70,000	1 月	14	163,427
8 月	4	45,000	2 月	6	58,800
9 月	4	31,000	3 月	3	32,376
			計	66	687,010

【広報プロモーション課】

(1) 市民向け広報の状況

① 「広報ひらかた」の発行

市政の情報をより具体的にわかりやすく伝える広報活動の中心的な役割を果たしている。

発行回数	通常号：月 1 回で年間 12 回
サイズ	通常号 A4 判（カラー刷り）
ページ数	通常号：48 ページ（12 回）

〔注〕有料広告の掲載。

- ・自主財源を確保し、発行経費を軽減するとともに、地域商工業の活性化や市民生活の向上に繋げていくことを目的に、平成 17 年 8 月から「広報ひらかた」に有料広告を掲載している。
- ・令和 5 年度の年間広告料収入は 7,703,850 円。

② 「広報ひらかた」の配布

広報紙の配布は業者委託で行っている。

〔広報ひらかたの発行部数等〕

年間発行部数	年間印刷経費	年間配布委託料
2,290,800 部	66,020,856 円	21,029,798 円

③ 点字・録音広報の発行

視覚に障害のある市民を対象に、「広報ひらかた」を点字・録音版にして送付している。

〔点字・録音広報制作数等〕

(単位：部、人)

区分	規格	年間延制作数	送付人数（月平均）
点字広報	B5 判（200 枚程度）	100	8
録音広報	CD	431	36

④ 市ホームページの運営

インターネットを利用したホームページを設置して市政情報を提供しており、平成 18 年 10 月 16 日から有料広告を掲載している。

年間ユーザー数 4,040,033 件 年間バナー広告料収入 391,476 円

⑤ 市政情報モニターによる情報放映

広報手段を拡充するため、市役所本館 1 階および別館 2 階に設置されている「市政情報モニター」に市政情報を放映している。

令和 5 年度は、118 種類の市政情報を年間 3,647 回放映した。

(2) 市民参加の広報活動

校区コミュニティ協議会や自治会、PTA やサークルなどの各団体が発行する機関紙の内容充実による市民活動の促進を図ることを目的に、取材や記事作成、写真撮影などのノウハウを職員が講師となって指導する機関紙作り講習会を開催。また、その成果発表の場として自治会やコミュニティ、サークルなどから機関紙やチラシを募集する機関紙コンクールを開催した。

[令和5年度機関紙コンクールの参加団体]

(単位：団体)

団 体 区 分	団 体 数
自治会・コミュニティ部門	18
サークル・同好会部門	13
PTA 部門	1
計	32

(3) パブリシティ（情報提供）の充実

広報活動の一環として、枚方記者クラブや地域誌等に、行政情報、まちの話題等の資料提供を行っている。令和5年度の提供件数は延べ145件であった。

(4) ふるさと寄附金寄附実績

① 月別寄附件数及び寄附金額

(単位：件、円)

	件数	寄附金額
4月	569	19,555,000
5月	465	14,490,000
6月	325	8,241,000
7月	384	7,731,000
8月	424	8,513,595
9月	1,971	37,064,000
10月	323	17,502,000
11月	727	18,803,000
12月	2,699	59,840,000
1月	274	6,238,000
2月	213	14,091,000
3月	551	12,347,000
計	8,925	224,415,595

[注] 個人からの寄附。

② ふるさと寄附金推進事業対象基金別寄附件数及び寄附金額

(単位：件、円)

	件数	寄附金額
新型コロナウイルス感染症対策応援基金	662	17,601,000
NPO 活動応援基金	111	2,700,000
東部地域里山保全基金	177	4,560,000
花と緑のまちづくり基金	316	7,849,000
安心安全基金	379	10,232,000
環境基金	292	6,151,000
福祉基金	516	11,516,595
こども夢基金	1,706	44,935,000
子どもに本を届ける基金	477	11,541,000
動物愛護基金	623	13,121,000
文化財保存活用基金	197	4,855,000
地域経済活性化基金	90	1,973,000
ひらかた万博推進基金	161	7,655,000
枚方宿地区賑わい創出基金	30	620,000

	件数	寄附金額
財政調整基金	3,186	79,006,000
その他	2	100,000
計	8,925	224,415,595

〔注〕個人からの寄附。

【広聴相談課】

（１） 市民相談業務実施状況

① 種類別件数

（単位：件）

相談種別	件数
生活相談	6,147
専門相談	法律相談 1,225
	その他相談 383
計	7,755

〔注〕法律相談は、複数項目の相談あり。

② 受付形態別件数

（単位：件）

受付種別	件数
生活相談	対面 1,954
	電話 4,190
	オンライン 3
専門相談	対面 1,517
	電話 78
	オンライン 13
計	7,755

③ 内容別件数

（単位：件）

種別	内容	件数
生活相談	相続	1,298
	遺言	108
	登記	282
	成年後見	94
	離婚	451
	家庭問題	441
	近隣問題	409
	不動産	446
	借地・借家	106
	金銭貸借（個人）	397
	金銭貸借（業者）	2
	交通事故	120
	消費生活	52
	損害賠償	88
	刑事・民事暴力	34
	心の健康	291
	労働	86
	その他一般	694
	国関係	40
	府関係	13
	市関係	565
	市の専門相談	21
	その他機関の相談	109
	計	6,147

種別	内容	件数
専門相談	借地関係（借方）	9
	借地関係（貸方）	4
	借家関係（借方）	26
	借家関係（貸方）	14
	不動産問題	127
	金銭貸借	164
	離婚	101
	損害賠償請求	41
	戸籍	5
	家庭問題	34
	遺産相続	449
	扶養料請求	12
	刑事事件	7
	交通事故問題	5
	慰謝料請求	9
	その他	218
	計	1,225
	交通事故	90
	国の行政	7
	登記	162
	遺言書・内容証明作成	35
	人権	9
	成年後見	59
	民事調停手続き	21
	計	383

合 計	7,755
-----	-------

(2) 「市民講座」実施状況

(単位：人)

実施日	テ ー マ	講 師	会 場	参加人数
5月30日	「インターネット上の誹謗中傷と表現の自由」	弁護士 結城圭一	ラポールひらかた	40
10月28日	「子どもが笑顔で健やかに成長できるために」	弁護士 玉野まりこ	サンプラザ 生涯学習市民センター	43

〔注〕5月・10月は大阪弁護士会と共催。

(3) 行政相談週間行事「行政と暮らしの一日相談所」実施状況

(単位：件)

項 目	担 当 者	件 数	開催日・場所
国 の 行 政 相 談	行 政 相 談 委 員	-	10月14日 ラポールひらかた 大研修室
人 権 相 談	人 権 擁 護 委 員	-	
法 律 相 談	弁 護 士	11	
登 記 相 談	司 法 書 士 土地家屋調査士	7	
遺言書等作成相談	行 政 書 士	1	
不 動 産 相 談	不 動 産 鑑 定 士	3	
税 金 相 談	税 理 士	5	
相 続 ・ 成 年 後 見 相 談	司 法 書 士	7	
民 事 調 停 手 続 き 相 談	調 停 委 員	3	
年金・社会保険・労働相談	社会保険労務士	3	
マンショントラブル相談	マンション管理士	-	
その他相談		3	
計		43	

(4) 「市民の声事業」実施状況

① 受付形態別件数

(単位：件)

受付種別	件 数	受付種別	件 数	受付種別	件 数
来 庁	5	ファックス	-	郵 送	3
電 話	-	提言はがき	12	Eメール	76
				合 計	96

② 対応等部署別件数

(単位：件)

部署名	件数	部署名	件数	部署名	件数
危機管理対策推進課	2	長寿・介護保険課	1	住宅まちづくり課	1
人権政策室	1	健康づくり・介護予防課	1	土木政策課	1
市民活動課	1	母子保健課	2	道路河川整備課	2
政策推進課	1	保健医療課	3	道路公園管理課	7
DX推進課	2	保健衛生課	2	工事委託課	3
市駅周辺まち活性化部	4	保健予防課	1	交通対策課	6
地域サービス課	1	子ども青少年政策課	6	教育政策課	3
医療助成課	1	子ども相談課	1	新しい学校推進室	3
資産税課	1	私立保育幼稚園課	8	中央図書館	2
人事課	1	公立保育幼稚園課	4	おいしい給食課	2
コンプライアンス推進課	1	ひらかた子ども発達支援センター	2	学校支援課	1
総務管理課	1	保育幼稚園入園課	8	児童生徒支援課	3
観光交流課	1	環境政策課	1	放課後子ども課	9

部署名	件数	部署名	件数	部署名	件数
文化生涯学習課	3	ごみ減量推進課	1	教育指導課	3
スポーツ振興課	4	家庭ごみ業務第1課	2	選挙管理委員会事務局	2
健康福祉政策課	6	家庭ごみ業務第2課	1	府	2
				合 計	125

〔注〕・1 案件につき複数の部署での対応あり。

- ・対応等を依頼した部署のみ記載。
- ・令和5年度の部署名を記載。

③ 災害等通報システム

(単位：件)

4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	
11	15	19	18	14	21	
10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
12	13	15	17	24	23	202

(5) インターネットアンケート実施状況

(単位：件)

	項目	部署名	実施期間	意見数
1	市民意識調査について	企画課	4 月 26 日～5 月 25 日	1,412
2	「枚方市人権尊重まちづくり条例の一部改正(素案)」について	人権政策室	11 月 1 日～11 月 20 日	5
3	「枚方市感染症予防計画(素案)」に関する市民意見聴取	健康福祉政策課	12 月 7 日～12 月 26 日	9
4	「第3次枚方市健康増進計画素案」に関する市民意見聴取	健康づくり・介護予防課	12 月 7 日～12 月 26 日	20
5	「第2次枚方市歯科口腔保健計画素案」に関する市民意見聴取	健康づくり・介護予防課	12 月 7 日～12 月 26 日	2
6	「第4次枚方市食育推進計画素案」に関する市民意見聴取	健康づくり・介護予防課	12 月 7 日～12 月 26 日	2
7	「枚方市いのち支える行動計画(自殺対策計画)【素案】」に関する市民意見聴取	保健医療課	12 月 7 日～12 月 26 日	5
8	「枚方市スポーツ推進計画改訂版(素案)」に関する市民意見聴取	スポーツ振興課	12 月 7 日～12 月 26 日	16
9	「枚方市文化芸術振興計画改定版(素案)」に関する市民意見聴取	文化生涯学習課	12 月 7 日～12 月 26 日	26
10	枚方市総合交通計画改定に関するアンケート	土木政策課	12 月 15 日～1 月 9 日	1,030
11	「ひらかた高齢者保健福祉計画 21(第9期)」(素案)に関する市民意見聴取	長寿・介護保険課	12 月 15 日～1 月 9 日	9
12	「枚方市障害者計画(第4次改訂版)、及び枚方市障害福祉計画(第7期)・枚方市障害児福祉計画(第3期)(案)」に関する市民意見聴取	障害企画課	12 月 15 日～1 月 9 日	30
13	「令和6年度枚方市食品衛生監視指導計画(案)」に関するアンケート	保健衛生課	2 月 1 日～2 月 21 日	-

〔注〕令和5年度の部署名を記載。

(6) パブリックコメント制度による意見募集実施状況

(単位：件)

	項目	部署名	実施期間	意見数
1	「枚方市駅周辺再整備基本計画の改訂(素案)」	市駅周辺まち活性化部	3月31日～4月19日	1,002
2	「枚方市分譲マンション管理適正化推進計画(案)」	住宅まちづくり課	6月12日～7月3日	19
3	「新型コロナウイルス感染症対策に係る予防接種事務に係る特定個人情報保護評価書(案)」	新型コロナワクチン接種対策室	11月1日～11月30日	-
4	「住民基本台帳事務に係る特定個人情報保護評価書(再実施)(案)」	市民課	11月1日～11月30日	-
5	「個人住民税業務に係る特定個人情報保護評価書(見直し案)」	市民税課	11月1日～11月30日	-
6	「枚方市国民健康保険第4期特定検診等実施計画第3期データヘルス計画(素案)」	健康づくり・介護予防課	12月7日～12月26日	5
7	「次期行財政改革プラン(案)」	行革推進課	12月7日～12月26日	26
8	「枚方市街路樹維持管理方針(案)」	工事委託課	12月7日～12月26日	20
9	「第2次情報化基本計画(第3期)の策定」	DX推進課	2月16日～3月8日	-
10	「第3期枚方市まち・ひと・しごと・創生総合戦略(案)」	企画課	2月16日～3月8日	17
11	「枚方市教育大綱(案)」	企画課	2月16日～3月8日	25

〔注〕令和5年度の部署名を記載。

(7) 市政モニター実施状況

(単位：人)

実施期間	項目	部署名	回答者数	登録者数
第1回 8月8日～ 8月25日	墓地に関するアンケート	保健衛生課	412	495
	市民の健康づくりや食育に関するアンケート	健康づくり・介護予防課	402	495
	市民の文化芸術に関するアンケート	文化生涯学習課	389	495
第2回 12月14日～ 1月9日	枚方市の文化芸術環境や施策に関するアンケート	文化生涯学習課	401	494
	枚方市総合交通計画の改定に関するアンケート	土木政策課	377	494

〔注〕令和5年度の部署名を記載。

(8) スマホアンケート実施状況

(単位：件)

実施月	項目	部署名	意見数
4 月	第 20 回統一地方選挙について	選挙管理委員会事務局	2,494
5 月	街路樹について	工事委託課	2,089
6 月	里山保全について 75 歳以上の健康診査、歯科健康診査について	農業振興課 後期高齢者医療課	2,011
7 月	食中毒について	保健衛生課	1,883
8 月	ひらかた万博（HIRKATA EXPO）について 自転車ヘルメットについて 熱中症について	政策推進課 交通対策課 保健医療課	1,650
9 月	たばこについて	健康づくり・介護予防課	2,204
10 月	食べのこサンデーについて フードドライブについて	循環型社会推進課 ごみ減量推進課	1,666
11 月	プラごみダイエット行動宣言について	環境政策課	1,979
12 月	キッズ・ゾーンについて	私立保育幼稚園課	2,739
1 月	子どもを守る条例について	子ども青少年政策課	2,477
2 月	市民憲章認知度等について 枚方市コールセンターについて	市民活動課 広聴相談課	2,806
3 月	観光について 広報プロモーションについて	観光交流課 広報プロモーション課	2,183

〔注〕令和 5 年度の部署名を記載。

(9) コールセンター運用状況

(単位：件、%)

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
外線着信数	18,368	25,757	24,947	20,477	20,080	18,972
応 答 件 数	17,796	23,543	23,830	19,592	19,349	18,321
応 答 率	96.9	91.4	95.5	95.7	96.4	96.6
ワンストップ回答率	35.6	46.5	45.2	38.9	40.0	40.3

10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
19,798	17,207	17,356	17,721	17,139	17,815	235,637
19,040	16,687	16,880	17,214	16,604	17,262	226,118
96.2	97.0	97.3	97.1	96.9	96.9	96.0
40.3	40.5	42.4	41.6	39.4	38.6	41.0

【参考】ダイヤルイン着信件数

(単位：件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
着信件数	70,403	76,633	116,658	97,512	74,491	23,201

10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
33,221	70,896	63,138	74,865	78,087	74,154	853,259

〔注〕9月9日から10月18日の期間は、機器の不具合により集計がとれず。

【人権政策課】

(1) 人権施策推進事業

① 講座「生きること」

(単位：人)

開催日	テーマ	講師	参加人数
10月17日	生き直し ～人は強制力では変わらない。変わるとしたらそれは 自分の中に息づく愛を知った時～	依存症回復施設職員・生活支援員・ 介護福祉士 渡邊 洋次郎	55
10月24日	阪神・淡路大震災から得た教訓～支え合うこと～	語り部KOBÉ1995 田村 勝太郎、崔 秀英、 和氣 光代	35
10月28日	ベトナム語の通訳を続けて25年 ～日本とベトナムの間で～	通訳翻訳業・ベトナム語司法通訳人 チャン・ティ・ヒエン	54

〔注〕・会場：ラポールひらかた大研修室

- ・枚方市（人権政策課・文化生涯学習課）、教育委員会（教育政策課）、特定非営利活動法人枚方人権まちづくり協会の共催。
- ・啓発記録冊子「生きること」の発行 1,000部

② 人権文化セミナー

(単位：人)

開催日	内容	会場	参加人数
11月15日	「落語で伝える戦争」 ～創作落語『防空壕』に込めた願い～ 出演者：桂 花團治（落語家）	ラポールひらかた 大研修室	93

〔注〕特定非営利活動法人枚方人権まちづくり協会と共催。

③ 人権週間事業

(単位：人)

開催日	内容	会場	参加人数
12月1日	人権悩みごと相談（人権擁護委員による相談）	サンプラザ生涯学習市民センター 第2集会室	－
12月6日	ウクライナの歌姫 ナターシャ・グジーコンサート ～水晶の歌声とバンドゥーラの可憐な響き～ 出演者：ナターシャ・グジー （歌手・バンドゥーラ奏者）	総合文化芸術センター小ホール	292

〔注〕コンサートについては、枚方市（人権政策課）、教育委員会、特定非営利活動法人枚方人権まちづくり協会、枚方地区人権擁護委員会、枚方事業所人権推進連絡会の共催。

④ 北朝鮮人権侵害問題啓発週間事業

(単位：人)

開催日	内 容	会 場	参加人数
12月6日	拉致問題を考えるパネル展・DVD「めぐみ」上映	総合文化芸術センター マルチスペース 1	42
12月11日	平和の鐘カリヨン（ヒラリヨン）のブルーリボン ライトアップ	岡東中央公園 平和の鐘カリヨン（ヒラリヨン）	...

〔注〕「拉致問題を考えるパネル展」は人権週間事業のコンサート（12月6日）と同時開催。

⑤ 人権相談事業

「人権なんでも相談」（人権ケースワーク事業）を特定非営利活動法人枚方人権まちづくり協会に委託
相談件数 364 件

⑥ その他人権・同和問題事業

- ・人権・同和関係行政機関・諸団体と各種啓発活動等に参加
- ・枚方市人権擁護推進本部事務局
- ・北河内人権啓発推進協議会事務局
- ・世界人権宣言寝屋川・枚方・交野連絡会事務局
- ・枚方地区人権擁護委員会事務局
- ・枚方事業所人権推進連絡会事務局

⑦ 広報による啓発

人権に係る相談窓口等の案内 4 回（広報ひらかた 4・5・8・12 月号）
枚方市人権尊重のまちづくり基本計画周知のため、コラムを掲載 5 回（広報ひらかた 5・6・10・12・3 月号）

⑧ 街頭啓発活動

(単位：人)

開催日	内 容	場 所	参 加 団 体	参加人数
6月12日	就職差別撤廃月間街頭啓発	枚方市駅	枚方事業所人権推進連絡会、枚方公共職業安定所、枚方市、特定非営利活動法人枚方人権まちづくり協会	13
12月1日	人権週間事業街頭啓発	枚方市駅 樟葉駅 長尾駅	枚方市、教育委員会、枚方地区人権擁護委員会、枚方事業所人権推進連絡会、特定非営利活動法人枚方人権まちづくり協会	39

⑨ 人権・同和・平和視聴覚教材（DVD）貸出状況

教材数	貸出件数	利用者数
59 本	6 件	181 人

(2) 非核平和都市宣言推進事業

① 妙見山煙突見学会

(単位：人)

開催日	内 容	会 場	参加人数
4月1日	戦争遺跡 妙見山煙突見学会	妙見山配水池内 (旧陸軍造兵廠香里製造所施設)	339
11月25日	戦争遺跡 妙見山煙突見学会		55

〔注〕五常校区コミュニティ協議会と共催。

② 憲法のつどい

(単位：人)

開催日	内 容	会 場	参加人数
5 月 27 日	・ 枚方第二小学校の児童による日本国憲法前文の朗読（動画上映） ・ 講演会「ちがいを楽しむ」 講師：副島 淳（俳優・タレント）	総合文化芸術センター 別館 メセナホール	203

③ 夏季平和事業

(単位：人)

開催日	内 容	会 場	参加人数
7 月 19 日～ 8 月 17 日	「戦争日記～鉛筆 1 本で描いたウクライナのある家族の日々～」ミニパネル展	枚方市役所 別館 1 階受付前	...
8 月 5 日～ 8 月 17 日	平和資料室特別展 「戦争日記～鉛筆 1 本で描いたウクライナのある家族の日々～」パネル展	中央図書館 平和資料室	647
8 月 10 日	平和ライブラリーコンサート 平和をテーマにしたサクソスアンサンブルコンサート 出演：Briller saxophone quartet (ブリエ サクソフォン カルテット)	中央図書館 エントランスホール	105

④ 市内の戦争遺跡ツアー

(単位：人)

開催日	内 容	会 場	参加人数
11 月 25 日	市内の戦争遺跡バスツアー	市内の戦争遺跡	19

⑤ 3. 1「枚方市平和の日」記念事業

(単位：人)

開催日	内 容	会 場	参加人数
12 月 27 日	「枚方市平和の燈火（あかり）」プレ事業 平和の絵の制作	明倫留守家庭児童会室 香陽留守家庭児童会室	70
2 月 14 日	「ひらかた平和フォーラム」 ・ 平和学習の紹介（動画上映・会場内で掲示） 五常小学校、牧野小学校、招提北中学校 ・ 講演会「戦争は言葉を変えてゆく」 講師：ロバート キャンベル (日本文学研究者・東京大学名誉教授)	総合文化芸術センター 大ホール	654
3 月 1 日 ～3 月 8 日	禁野火薬庫の爆発ミニパネル展	枚方市役所 別館 1 階受付前	...
3 月 2 日	「枚方市平和の燈火（あかり）」 ・ 約 3,000 個のキャンドルを点灯 【実行委員による取り組み】 ・ フードドライブ、折り鶴ブースを出展 ・ プレ事業で制作した平和の絵を展示 ・ 立体造形物を展示 ・ アカペラコンサートを開催	岡東中央公園	約 1,000

⑥ その他

- ・ 平和啓発冊子「平和のために私たちができること」を市内小学校へ配付した。また、冊子の内容をデジタル化し、市内小学生が所持するタブレットにおいて閲覧できるデジタル副読本「わたしたちのまち枚方」内で公開した。
- ・ 小学校への冊子配付数 901 冊
- ・ 各非核平和関連事業の会場に「折り鶴コーナー」を設置し、来場者等に平和への願いを込めて鶴を折ってもらった。

(3) 男女共同参画推進事業

① 男女共生フロア・ウィル事業

(a) 啓発冊子の発行

(単位：部)

冊 子 名	発 行 部 数
男女共同参画を目指す情報誌 「モアメイム」 25 号	2,000
男女共生フロアだより 137 号	700

(b) 男女共同参画週間事業

(単位：人)

開催日	内 容	講 師	参加人数	保育人数
6 月 23 日 ～ 7 月 23 日	男女共同参画週間事業 「みんな“男”がわからない?～一般男性の話から見た生きづらさと男らしさのこと～」動画配信	清田隆之（文筆業、恋バナ収集ユニット「桃山商事」代表 ／女子美術大学非常勤講師）	89	-
7 月 21 日	男女共同参画週間事業 「みんな“男”がわからない?～一般男性の話から見た生きづらさと男らしさのこと～」動画上映会	清田隆之（文筆業、恋バナ収集ユニット「桃山商事」代表 ／女子美術大学非常勤講師）	6	-

(c) 女性に対する暴力をなくす運動期間事業

(単位：人)

開催日	内 容	講 師	参加人数	保育人数
11 月 18 日	働く女性のためのコミュニケーション講座 自信をもって伝えよう	周藤 由美子 (ウィメンズカウンセリング京都)	12	2

〔注〕その他、平和の鐘カリヨン（ヒラリヨン）のパープルライトアップを実施した（11 月 17 日）。

(d) 男女共同参画啓発事業

(単位：人)

開催日	内 容	講 師	参加人数	保育人数
6 月 26 日	女性のための基礎から学ぶ起業セミナー①起業の心構えと実例	川崎 ますみ（中小企業診断士）	21	5
6 月 28 日	女性のための基礎から学ぶ起業セミナー②起業に必要なお金の話	高松 留美（中小企業診断士）	16	3
7 月 31 日	ウィル de クラフト① ペーパークラフト講座（親子向け）	図書館フレンズ、エッセイサークル文文	14	-
8 月 7 日	ウィル de クラフト② ペーパークラフト講座（一般向け）	図書館フレンズ、エッセイサークル文文	11	-
9 月 7 日	ウィル de シネマ①「泣いたり笑ったり」		226	2
9 月 8 日	ウィル de シネマ②「パッドマン」		174	3

開催日	内 容	講 師	参加人数	保育人数
10月11日	離婚を考える女性のための連続講座①知って いてソンはなし 離婚とお金のリアルな情報	加藤 葉子（株式会社マイライ フエフピー 女性とシングルマザ ーのお金の専門家）	21	1
10月11日	離婚を考える女性のための連続講座②離婚後の 住まいの不安を解消！住宅探しの基礎知識	春田 美砂子（オフィス VER 代表 宅地建物取引士）	18	-
2月28日	私を知るための母娘関係講座① 母からみた母娘関係～娘がわからない～	小田切由里（フェミニストカウ ンセリング堺）	40	2
2月28日	私を知るための母娘関係講座② 娘からみた母娘関係～母がしんどい～	小田切由里（フェミニストカウ ンセリング堺）	39	4

(e) DV 防止啓発事業

(単位：人)

開催日	内 容	講 師	参加人数	保育人数
5月27日 7月22日 9月30日 11月18日 1月20日 1月27日 3月16日	DV被害から回復するための教育プログラム わがままステーション	井ノ崎 敦子（徳島大学）	4 2 2 3 2 2 4	1 1 1 - 1 1 2

(f) DV 予防教育プログラム

(単位：人)

開催日	内 容	講 師	参加人数
6月22日 8月31日、9月1日 9月5日 9月28日、29日 10月19日、20日 11月17日 1月18日、19日 1月22日、23日	わたしもぼくも☆みんな活き活き ＜対象＞小学4年生 ＜実施校＞ 山田東小学校（1クラス） 菅原小学校（3クラス） 蹠陀東小学校（2クラス） 樟葉小学校（4クラス） 津田小学校（3クラス） 山田小学校（1クラス） 桜丘小学校（3クラス） 香里小学校（4クラス）	特定非営利活動法人 SEAN	605
6月16日 6月29日 7月4日、6日 7月10日、11日 10月26日、27日 11月6日、10日 11月8日、9日 11月27日、28日 12月5日 12月8日 12月11日、12日 1月12日 1月26日 2月5日	対等な関係って？～デート DV について考え よう～ ＜対象＞中学生 ＜実施校＞ 桜丘中学校（4クラス） 中宮中学校（4クラス） 蹠陀中学校（7クラス） 楠葉中学校（5クラス） 第四中学校（7クラス） 長尾西中学校（5クラス） 第一中学校（5クラス） 東香里中学校（6クラス） 渚西中学校（3クラス） 津田中学校（6クラス） 枚方中学校（5クラス） 楠葉西中学校（4クラス） 招提北中学校（3クラス） 長尾中学校（4クラス）	特定非営利活動法人 SEAN	2,425

〔注〕教育委員会教育支援室との共催。

(g) 相談事業・情報提供（延件数）

（単位：件）

電話相談	面接相談	法律相談	男性相談（電話）
568	358	88	34

〔注〕特定非営利活動法人枚方人権まちづくり協会に委託。

(h) 図書・情報コーナー

新規利用登録者	貸 出	
	図書・雑誌	AV 資料
33 人	374 冊	5 点

(i) 男女共同参画活動ルーム

登録団体	使用延件数	使用延人数
12 団体	96 件	810 人

② 枚方市配偶者暴力相談支援センター「ひらかた DV 相談室」事業
DV（配偶者等からの暴力）相談等

（単位：件）

相談（延件数）		一時保護支援	保護命令申立支援	各種証明書発行
電話	面接			
1,195	550	5	4	177
1,745				

③ 性的マイノリティ支援事業

(a) パートナースhip宣誓 3 組

(b) LGBTQ+ 電話相談 26 件

(c) コミュニティスペース

（単位：人）

開催日	内 容	ファシリテーター	参加延人数
毎月第 3 火曜日	ひらかた・にじいろスペース	特定非営利活動法人 QWRC	54

④ 男女共同参画推進本部研修

（単位：人）

開催日	内 容	講 師	参加人数
1 月 31 日	女性活躍推進研修～多様な人材が働きやすくなるための組織づくり～	竹内 ゆかり（株式会社インソース）	37

〔注〕対象者は男女共同参画推進本部員、男女共同参画推進本部幹事、希望する市議会議員。集合研修を行った。

開催日	内 容	講 師	参加人数
2 月 1 日 ～ 3 月 15 日	みんな”男”がわからない？～「一般男性」の話から見た生きづらさと男らしさのこと～	清田隆之（文筆業、恋バナ収集ユニット「桃山商事」代表/女子美術大学非常勤講師）	102

〔注〕対象者は男女共同参画推進担当者。研修ストーリーミングシステムを使用した録画動画の配信を行った。

⑤ DV 関係機関連絡会議実務者研修

(単位：人)

開催日	内 容	講 師	参加人数
5 月 19 日	DV 支援における各機関との連携・協働について	山中京子(コラボレーション実践研究所 所長/大阪公立大学名誉教授)	34

⑥ 教職員研修

(単位：人)

開催日	内 容	講 師	参加人数
6 月 22 日 8 月 31 日 9 月 5 日 9 月 28 日 10 月 19 日 11 月 17 日 1 月 19 日 1 月 23 日	教職員研修「わたしもぼくも☆みんな生き 生き」～互いの「こころ」と「からだ」を 大切にするために <実施校> 山田東小学校 菅原小学校 蹉跎東小学校 樟葉小学校 津田小学校 山田小学校 桜丘小学校 香里小学校	特定非営利活動法人 SEAN	213

〔注〕教育委員会教育支援室との共催。

⑦ 附属機関等における女性の比率

(単位：件、人、%)

	令和 5 年 3 月末					令和 6 年 3 月末				
	設 置 数	総委員数	女	男	女性比率	設 置 数	総委員数	女	男	女性比率
附属機関等	95 (4)	1,087	399	688	36.7	116 (5)	1,168	426	742	36.5
専門委員	7 (1)	16	5	11	31.3	8 (1)	27	6	21	22.2
行政委員会	6 (1)	38	7	31	18.4	6 (1)	38	7	31	18.4
全 体	108 (6)	1,141	411	730	36.0	130 (7)	1,233	439	794	35.6

〔注〕設置数欄の（ ）内の数字は女性委員のいない審議会等の数を表す。

(4) いじめ相談窓口

① いじめ相談窓口

(a) 相談者延べ件数

(単位：件)

相談窓口	電話	面談	メール	手紙	計
件数	31	5	4	28	68
相談者	児童生徒	11	3	28	42
	保護者等	20	2	4	26

〔注〕令和 5 年 7 月からいじめ相談窓口を開設。
令和 5 年 9 月から手紙相談を開始。

(b) 相談対象者別件数

(単位：件)

相談対象者別 件数	幼児	小学生	中学生	高校生	その他	計
	-	50	13	1	4	68

【市民活動課】

(1) 校区コミュニティ活動補助金交付事業

交付数	交付総額
45 校区	53,666,832 円

(2) 地域づくりデザイン事業

申請者	区分	事業名称
菅原東校区コミュニティ協議会	新規	ホームページの運用によって様々な情報発信を目指す地域の ICT 化

(3) 自治会掲示板交付事業

(単位：枚)

交 付 先	交付枚数
リバー出屋敷自治会、津田南町自治会、学園平自治会、藤阪苑自治会、津田区（2 枚）、中宮本町一区自治会、須山町会、菅原東自治会、東須山町会、堂山自治会、南中振北自治会、磯島自治会、東香里新町自治会、出口自治会（2 枚）、岡山手町自治会、牧野本町東自治会（2 枚）、牧野阪自治会、磯島茶屋町町会、杉の台自治会、養父丘二丁目自治会、春日自治会、田口共栄町会、出屋敷自治会、北中振北区自治会、走谷自治会、西禁野町内会、黄金野西地区自治会、松丘町自治会、甲斐田町内会、東山 1 丁目町内会	33

(4) 自治会館建設等助成事業状況

(単位：円)

助 成 区 分	助 成 先	助 成 額	自 治 会 館 所 在 地
改 修	須山町会	938,000	須山町 26-8
	翠香園町自治会	872,000	翠香園町 29-01
	西田口自治会	733,000	交北 1-22-13
	津田区	3,000,000	津田元町 3-1-20
	岡集会所管理委員会（岡南地区自治会/岡東自治町内会/岡山手町自治会）	2,000,000	岡南町 3-19
	藤阪平和苑自治会	2,213,000	藤阪元町 3-19-11
	計 6 件	9,756,000	
耐震改修	津田区	1,000,000	津田元町 3-1-20
	岡集会所管理委員会（岡南地区自治会/岡東自治町内会/岡山手町自治会）	1,000,000	岡南町 3-19
	藤阪平和苑自治会	1,000,000	藤阪元町 3-19-11
	計 3 件	3,000,000	
土地賃借	西牧野 1 丁目自治会	240,000	西牧野 1-20-22
	計 1 件	240,000	
合 計 10 件		12,996,000	

(5) 市民公益活動補償保険事業

〔市民公益活動補償保険報告状況〕

(単位：団体、件)

市が保険契約を行い、5 人以上の市民団体の公益的な活動中の事故について補償することにより、市民活動の振興と福祉の向上を図ることを目的とする。

登録団体数	事故報告件数	内 訳	
		傷害保険	賠償責任保険
698	27	25	2

(6) ボランティア表彰事業

(単位：団体、人)

ボランティア活動を行っている団体や個人の労をねぎらい、今後の活躍を期待し促進するために市長表彰を行う。

被表彰者（団体）	被表彰者（個人）
7	57

(7) サプリ村野 NP0 センター 各施設利用状況

① 一時利用室

(単位：件、%)

室 名	件 数	利用率
101	970	69.9
102	817	58.9
103	762	54.9
104	645	46.5
201	540	38.9
202	516	37.2
203	579	41.7
合 計	4,829	49.7

② 長期利用室

(単位：月)

室 名	利用月数
301	12
302	11
303	12
304	12
305	11
306	12
307	12

資 料 編

【広報プロモーション課】

(1) 広報ひらかた発行状況

種別 号	広報ひらかた		点字版
	部 数	ページ数	部 数
5 月	190,800	48	9
6 月	190,900	48	9
7 月	190,900	48	9
8 月	190,900	48	9
9 月	190,900	48	8
10 月	191,000	48	8
11 月	190,900	48	8
12 月	190,900	48	8
1 月	190,900	48	8
2 月	190,900	48	8
3 月	190,900	48	8
4 月	190,900	48	8
臨時号	-	-	-
計	2,290,800	576	100

〔注〕（参考）「枚方市保健センター便利帳」が年1回、「社協だより」が年4回、「枚方市議会報」が年6回同時配布される。

CD 版

号	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	臨時号	計
部数	37	37	37	37	37	36	36	36	36	35	34	33	-	431

〔注〕CD版は毎月10日ごろ発行。

(2) ひらかたプロデューサーズ登録者数

(単位：人)

	新規登録者数
4 月	-
5 月	-
6 月	-
7 月	1
8 月	-
9 月	-
10 月	-
11 月	-
12 月	-
1 月	1
2 月	-
3 月	-
計	2

〔注〕・平成30年1月から運用。

・令和5年度までの累計登録者数は227人。

【広聴相談課】

(1) 市民相談件数

(単位：件、%)

区 分	令和3年度		令和4年度		令和5年度	
	件 数	増減率	件 数	増減率	件 数	増減率
生 活 相 談	5,248	▲2.3	5,713	8.9	6,147	7.6
専 門 相 談	1,492	9.8	1,674	12.2	1,608	▲3.9
計	6,740	0.2	7,387	9.6	7,755	5.0

(2) 「無料相談会」実施状況

(単位：件)

実施日	タイトル	主 催	会 場	件 数
8月5日	司法書士による相談会 「相続・遺言」	大阪司法書士会	牧野生涯学習市民センター	30
11月25日	司法書士による説明会&相談会 「成年後見・相続・遺言」	成年後見センター・ リーガルサポート大阪支部	ラポールひらかた	33
3月2日	大阪府下一斉無料法律相談会	大阪弁護士会	枚方市役所別館5階 広聴相談課内	11

〔注〕市との共催による開催。